

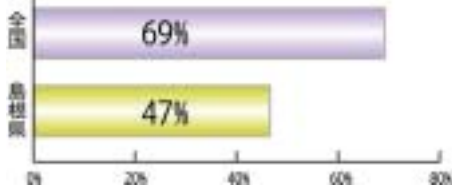
道路財源の確保について

【 内閣府・財務省・国土交通省 】

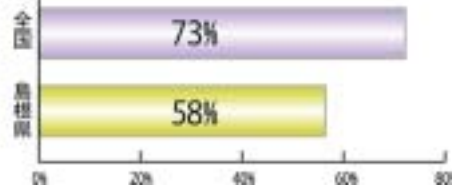
提案・要望の内容

- 1 道路特定財源は、引き続き、道路整備財源として確保し、高速道路をはじめ、遅れている地方の道路整備に充当すること。
- 2 大幅に不足している地方の道路財源の強化拡充を図ること。

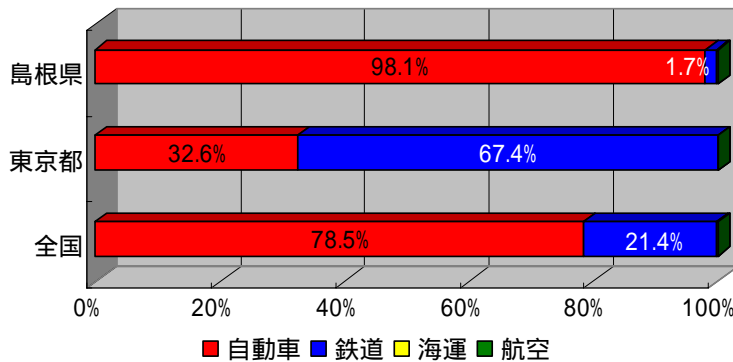
高速道路の整備率 (H18.4.1 現在)



国県道の2車線改良率 (H16.4.1 現在)

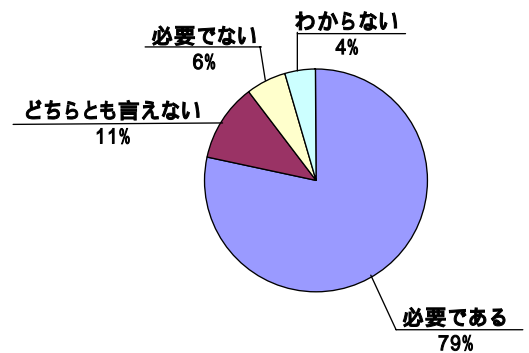


交通機関分担 (旅客輸送)



資料:「平成15年度貨物地域流動調査旅客地域流動調査」

高速道路をはじめ、県内の道路整備は必要か。 (サンプル数411人)



【 現状と課題 】

高速道路をはじめ、鳥根の道路整備は「道半ば」

- ・東西230kmの細長い県土を連絡する幹線道路は国道9号のみ
 - ・公共交通機関が未発達で旅客輸送の約98%が自動車に依存
 - ・鳥根の豊かな観光資源が十分生かされていない
 - ・高速道路は供用率の低さ(47%)に加え、ネットワーク化されていない
 - ・国県道の2車線改良率は58%と低く、日常生活や経済活動、救急医療などに支障
 - ・高度・専門的医療機関への所要時間の短縮が課題
 - ・地域産業の競争力強化支援のため、物流の円滑化が必要
 - ・市町村合併を支援する道路整備が不十分
- 遅れた道路整備を進めるため、財源の確保は不可欠
- ・本県の道路整備財源に占める道路特定財源の割合は約4分の1(全国は約2分の1)に過ぎず、財源が大幅に不足
 - ・山陰道出雲以西の直轄事業に係る負担金が大(推定約500億円)

しまねの幹線道路網 (H18.4.1 現在)



【 本県取組状況・方針 】

県財政の厳しい中においても、高速道路をはじめ、幹線道路網の構築や身近な生活道路、都市内道路を優先施策として促進

県議会で「道路特定財源の確保」等について意見採択 (H17.7.8)(H17.12.16)

県HP「島根の主張」に、「道路特定財源問題」を掲載 (H17.9.6)

副題「道路特定財源の役割は終わっていません」

中国知事会で「道路特定財源を活用した中国地方の高速道路ネットワークの整備促進に関する緊急提案」(H17.10.14)

国等に「道路特定財源については、全て道路整備に充当し、整備の遅れた地方の高速道路に重点投資すること」を重点要望 (H17.10.25)

山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会で「早期全線開通と道路特定財源を一般財源化することなく、全額道路整備に充てること」等を決議 (H17.11.19)

シンポジウム「ふるさとの明日を考える～道路問題と島根の未来」を開催 (H18.3.12)

山陰自動車道建設促進期成同盟会により、「地方の高速道路の明日を語る」懇談会を開催 (H18.5.12)

【 提案要望の効果 】

道路整備財源の確保

山陰道・中国横断自動車道尾道松江線の整備促進

国県道の整備促進